



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RI.D2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F／〒241-0821

TEL.045-365-3273／FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2017年3月15日 第2282回例会 VOL. 48 No. 33

■司 会 SAA 安藤 公一

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■齊 唱 手に手つないで

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	23名
本日の出席率	92.0%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

斉藤、市川

■ゲスト

上原 健様（日本野鳥の会常務理事）

■皆出席者表彰



増田嘉一郎会員 27年

■会長報告

○地区関係

1) 地区指名委員会において、RI 細則 13 条 13.020. に基づきガバナーノミニージェグ ネットとして、轟淳次氏（川崎マリーン RC）

を指名しました。

2) 熊本被災地への自転車支援につきまして、2016-17 年度「意義ある業績賞」、2月 27 日業績賞選考委員会におきまして、誠に残念ながら選外となりました。有意義なプロジェクトでありましたので、特別に「ガバナー賞」をさしあげたくご報告申し上げます、との事です。

3) 1994-95、2590 地区ガバナー中山義之氏（横浜南 RC）が 3 月 7 日ご逝去されました。3 月 12 日通夜、3 月 13 日告別式がありました。

4) 4 月 1 日 14 時からサンピア川崎で、2016-17 年度派遣学生オリエンテーションがあります。

5) 4 月 15 日 15 時から上大岡ウィンリング横浜ゆめがおかオフィスタワー 12 階で、2017 年度米山奨学生オリエンテーションがあります。担当学生は沈さん、中国人で美人です。後藤さんよろしくお願い致します。

6) 3 月 16 日に、旭高校インターアクトクラブ設立について、久米ガバナー補佐、水谷地区インターアクト委員長、青少年奉仕委員長の五十嵐さんと訪問することとなりました。ネックの一つは、年次大会の開催についてでしたが、県立高校には年次大会開催はお願いしていないとのインターアクト委員長の話があり、課題の一つはクリアしました。

○クラブ関係

1) 宇土ロータリークラブより、創立 30 周年記念式典開催の報告がありました。熊本地震で延期しておりました式典・祝賀会を 4 月 22 日実施する運びとなりました。お送りいただいたリサイクル自転車は、宇土市内の仮設住宅入居者の方々に配布させて頂きました。会員一同心より感謝申し上げます。

2) 旭区は平成元年(1989)2月4日区の花「あさがお」、区の昆虫「ほたる」を制定、平成 11 年(1999)10月31日区の木「どうだんつつじ」を制定しました。

ほたるの数少ない生息地追分・矢指市民の森で、菜の花を楽しむ会が 3 月 26 日(日曜)10-14 時開催されます。行き方は旧丸子茅ヶ崎線から、森を下るのが便利です。駐車違反にはならないと思います。場所はマリアンナ医科大学病院の裏ににります。

今日の卓話は追分・矢指市民の森について、この方より詳しい方はいないと関水さんより紹介いただきました上原様にお願いしました。上原様よろしく申し上げます。

■職業奉仕委員会 滝澤 亮
○職場訪問

日時 3月25日(土)10時～12時

場所 高梨乳業

現在、人数が足りていません。皆様のご参加を、お待ち申し上げます！

■会員増強委員会 関口 友宏

この度、地区主催による経営講演会が開催されます。

テーマ「企業の持続性を考える」は、経営者にとって永遠の課題です。当日は会員外にも開放されますので、この機会にお知り合いの方をお誘い頂き、会員増強の一助にして頂きたいと思います。

日時 4月22日(土)午後1時～6時40分

場所 講演会 神奈川県民ホール

中区山下町3-1 TEL 045-662-5901

懇親会 ロイヤルホールヨコハマ

中区山下町90 TEL 045-662-3352

参加費 講演会 無料

懇親会 2,000円

(当日、受付にてお支払いください)

申込 事務局宛

■雑誌委員会

増田嘉一郎

「ロータリーの友」誌紹介

○横組

(1) [3頁]

RI 会長メッセージは、ロータリーの多様性について述べている。40 年前に RI は、3 人の女性会員の入会を認め、その結果、デュアルテ RC の加盟を終結した。同 RC はその後も女性がロータリアンとして奉仕するために闘い続け、10 年後女性会長のもとに再加入したとのことである。ロータリーは男性と女性を必要としており、その多様性がロータリーの強みとしている。

(2) [7頁～]

ローターアクトの過去から今を紹介している。やっぱり若さである。肉体を使う奉仕が多く、うらやましい。8 頁には、イノシシ解体例会が紹介されている。

(3) [14頁～]

水と衛生月間のプロジェクトを紹介している。スリランカの浄水設備、モンゴルの井戸設置等のでている。

(4) [23頁]

ロータリー衛星クラブを説明している。衛星クラブというのは、本格的な独立したロータリークラブになる迄の短期間の移行形態となるものとある。例えば、20 人にならないと新クラブとして承認されないが、衛星クラブは、20 人未満でも設立が認められ、会員候補者はロータリアンとなることができるというものである。

(5) [31頁]

ガバナーのページに、当地区高良明ガバナーの記事がでている。

①ミッション②メンバー③マネージメントの 3M が、組織の魅力造りには必要とのことである。

(6) [32頁～]

イアン・ライズリー RI 会長エレクトのインタビューが載っている。36 頁から国際協議会レポートが掲載されており、次年度のテーマは、「ロータリー: Making a deference」(ロータリー: 変化をもたらす) だそうです。

ガバナーエレクト達は、ポリオの発症がゼロになる初めての年度のガバナーになれるかもしれないと、モチベーションを喚起している。42頁の「ようこそロータリー」の頁では、RI 会長エレクトがロータリーの活動の持続可能性の重要性について話していたとのことである。地球の持続可能性のためには、一人一本の木を植え、植えた後の森の手入れまで計画を立てることが、大事だと強調している。

○縦組

(1) [21 頁]

柳壇に久々に吉原会員の作品がでている。毎号掲載されるのが当然と思っていたが、しばらく間があいたような気がする。素人が勝手なことをいっていると思われるであろうが、是非共、毎号掲載を継続していただきたい。

(2) [28 頁]

ロータリーネットワークの文章編に、浜松西ロータリークラブが、カンボジアの子どもたちへ、中古自転車 400 台を寄贈したことが投稿されている。2007 年から毎年支援を続け会計 3,720 台を寄贈したそうである。

カンボジアまでの運搬は、(公財)自転車駐車場整備センターが負担したのである。

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

青木 邦弘／今日の卓話、日本野鳥の会理事上原様をお願いしました。よろしくお願いいたします。

北澤 正浩／日本野鳥の会常務理事の上原様ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願いいたします。

岡田 清七／大変ご無沙汰しました。元気な皆様のお顔を拝見出来て幸せです。

吉原 則光／お寒いところ、上原様、卓話頂き有難うございます。有益なお話、楽しみです。

滝澤 亮／上原様、本日の卓話宜しくお願い致します。②明日 PETS に行ってみます。

増田嘉一郎／①皆出席祝いをいただき、ありがとうございます。まだまだ頑張れそうです。②上原様、卓話を楽ししく聞かせていただきませう。

倉本 宏昭／上原様、本日はようこそおいで下さいました。楽しいお話をお待ちしています。

す。

鈴木 茂之／皆さん、こんにちは。今月 25 日親睦委員会より、タカナシ乳業工場見学をよていしております。皆さんの参加よろしくお願ひ致します。

佐藤 利明／上原様、本日はよろしくお願ひします。

大川 伸一／上原健様、本日の卓話をよろしくお願ひします。

二宮麻理子／上原様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

太田 勝典／日本野鳥の会上原様、今日はよろしくお願ひ致します。

安藤 公一／①上原様、卓話宜しくお願ひします。②WBC 侍 JAPAN 頑張れ！！

■卓話

「追分市民の森の状況」

上原 健様



ご紹介に預かりました。上原健です。もうかれこれ 30 年以上東希望が丘に住んでいます。

今(3月15日)、私が大好きで足繁く通っている、追分市民の森では菜の花が咲きそろい、3月26日には追分市民の森愛護会の主催で「菜の花を楽しむ会」が開催されます。

追分市民の森は、低地の両側に斜面がある谷戸(やと)地形が続いています。低地の脇には綺麗な水の小さな流れがあって、そこに蛍をはじめ、いろいろな水辺の生き物が生息しています。旭区の虫は蛍なんだとか、初めて知りました。

日本の代表的な蛍はゲンジボタルとヘイケボタルですが、追分市民の森では夏至の頃、



6月20日あたりにゲンジボタルが最盛期を迎えます。最近ではそこで蛍が見られることが知れているようで、夕方になると家族連れが懐中電灯を手に蛍狩りを楽しまれています。この時期は昼間よりも夜の方が人出が多くなります。

下流の湿地にはノハラボタルという外国産の珍しい蛍も生息しており、今後この外来種が生息地を広げるのか、いつの間にかいなくなるのか、動向が気になるところです。その他にも数種類、光らない蛍の仲間があり、ホタルブクロという可憐な草花（昔の人が捕まえた蛍をその花の中に入れて、風情を楽しんだという）も多く咲いています。

ゲンジボタルの幼虫は肉食で、カワニナという貝を餌にしています。そして、そのカワニナは川に落ちたホウノキの大きな葉っぱをよく食べるそうです。ホウノキは追分市民の森に普通に生えていますのでカワニナは餌には困らないでしょう。



今では春はナノハナに彩られ、夏はヒマワリ、秋はコスモスが咲き誇る追分市民の森の中心部は、もともと谷戸なので、大昔は豊葦原瑞穂の国（とよあしはらみずほのくに）という日本列島の古名の由来になった葦（アシ）

という湿地の草が生い茂り、人が定住するようになってからは切り開かれ田んぼでした。田んぼは都岡の方まで続き、昭和40年代にはヘリコプターで農薬が撒かれていたそうです。



追分市民の森は今でも、旭区では希少となった湿地の植物（ツボスミレ、ジロボウエンゴサク、イヌゴマ、クサレダマなど）や動物（シユレーゲルアオガエル、トンボ類、サワガニなど）の貴重な生息地ですが、生き物の観点だけからいうと、元のように広い湿地を取り戻したいところです。

愛護会の皆さんは、仕事の合間に、生き物を増やすための勉強会を行ったり、精力的に作業をしたり、良い環境を作り出して市民に喜んでもらおうと活動されています。逆に、市民が農作業に参加することで環境が整備されている場面もあります。市民にとっては田植えや稲刈りなども楽しいイベントです。ロータリクラブの皆さんと共同で良い環境作りに取り組めれば嬉しく思います。

■次週の卓話

3/29 休会

4/5 母子の健康フォーラム

後藤 英則 会員

週報担当 吉原 則光